

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 6 月 11 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

基本数値について一通りご説明しました。(前回までのレポート参照)なぜこれを知っておかなければならないのかというのは、言うまでもないことですが**変化日を知る為**です。

変化日を知る方法はいもう一つあります。**対等数値**と呼ばれるものです。これから何回かに分けて少しずつご説明していきます。

まずは、この言葉から覚えておいて下さい。「**過去の相場に費やした日柄は今後の相場に強く影響する**」。

言葉通り、過去の相場に費やした日柄は今後の相場にも何らかの形で強い影響をもたらすという意味です。

たとえば、直近の安値から高値までの日柄が 1 2 週とすれば、**その 1 2 週という日柄がやがてどこかで出てくる可能性がある**。今度はその高値から次の安値までが 1 2 週かもしれませんし、高値から次の高値までが 1 2 週かもしれません。

とにかく、**過去の相場に現れた日柄がやがてどこかで出てくる!!** という理論であるわけです。このことを良くご理解いただいた上で 6807 航空電子のチャートをご覧下さい。

次回に続きます

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03 - 3 6 6 9 - 5 5 5 2)



Alpha Chart 社